

# ようこそ カフェ



## 横浜総合高校 校内居場所カフェ 広報誌



### 02 はじめに

高橋寛人(横浜市立大学 教員)

### 03 ようこそカフェのあゆみ

### 04 ようこそカフェってなに?

### 05 ようこそカフェの特色、運営体制

### 06~08 運営団体紹介

①公益財団法人よこはまユース

②認定NPO法人多文化共生教育ネットワークかながわ

③認定NPO法人横浜メンタルサービスネットワーク

④認定NPO法人エンパワメントかながわ

⑤ユカナガシマクッキングサロン

### 09 協力団体紹介

### 10 メディア掲載実績

### 11 生徒の声、職員の声、スタッフの声

### 12 むすびにかえて

小市聡(横浜総合高校 校長)



## はじめに

**高橋寛人**(横浜市立大学教員)

経済の停滞やコロナ禍などによって、人々の生活上の苦労が増えています。健康をそこねたり、精神的に追い詰められている人も少なくありません。これから社会に出て行く高校生は、将来の展望が開けず、担任その他の教員や養護教諭・カウンセラーを頼って相談をするケースが、以前にもましてふえています。しかし、教職は“ブラック”だと言われるように、先生方は膨大な仕事を抱えていて、生徒たちに対応する時間が十分にとれません。

今日の生徒が抱える困難は複合的です。生徒自身、具体的に何と何が困難なのか、それらがどのように関係し合っているか認識することは容易ではありません。カフェでスタッフやボランティアに話を聞いてもらったり相談したりする中で、生徒自身が課題を整理して明確にできると、解決行動に取り組めるようになります。生徒自身では解決が難しい場合は、スタッフの中の専門家が対応したり、外部専門機関につなげていくことができます。横浜総合高校では「ようこそカフェ」という、生徒がドリンクを飲みながら自由になんでも話せる居場所を用意しています。

大人に真剣に話を聞いてもらうことだけでも、生徒たちにとって大きな喜びです。困難な環境で育った子どもたちの場合、かまってもらえる、自分に興味を持ってもらうという経験が乏しいケースがめずらしくありません。自分を認めてもらったという実感を持てること、自分が大切にされていると感じることができます。

子どもたちを応援したいという大人たちから、ドリンクやお菓子や軽食などの寄付が集まります。また、軽食の調理や子どもの話し相手のボランティアも積極的に行ってくれる人々がいます。こうして、様々な大人がカフェに訪れ、地域の人々の交流の場ともなっています。

ところで、高校内居場所カフェの元祖は大阪府立西成高校ではじまった「となりカフェ」で、その後市内の多くの高校でカフェが開かれました。神奈川県では、2014年に県立田奈高校に「ぴっかりカフェ」が生まれてから、県立津久井高校「出張ポルトカフェ」、県立厚木清南高校通信制「カフェブランシュ」、川崎市立川崎高校定時制「ぼちっとカフェ」などが誕生、2016年から横浜市立横浜総合高校「ようこそカフェ」がはじまりました。その後コロナ禍の前までに、神奈川県内の高校内居場所カフェは約10校に増えました。

高校内居場所カフェは魅力的な空間として注目を集め、新聞・テレビ・ラジオや雑誌・ブログ記事などで紹介されています。全国で、学校内にカフェをつくりたいという声が高まってきました。そこで、一昨年、カフェを運営している人々が集まって『学校に居場所カフェをつくろう!--- 生きづらさを抱える高校生への寄り添い型支援』(明石書店、税別1800円)という図書を刊行しました。校内カフェの意義や作り方をわかりやすく解説しています。お読みいただければ幸いです。

# 「ようこそカフェ」のあゆみ

これまでの「ようこそカフェ」のあゆみをご紹介します。

- 2016年 天野真人校長が教育委員会等の関係機関と相談、横浜市立大学高橋寛人教授と「公益財団法人よこはまユース」を紹介される。「認定NPO法人多文化共生教育ネットワークかながわ」「認定NPO法人横浜メンタルサービスネットワーク」とともにカフェを立ち上げる。
- 2016年10月 **カフェオープン。**  
以降、週に一度、水曜日に実施。(年間25～30回)生徒からの公募で「ようこそカフェ」と命名。
- 2017年5月～ 料理研究家、長島由佳氏による  
「ユカナガシマpresentsカラダとココロにしみる美味しいCOOKING!!」がスタート。
- 2017年7月～ **漁業・農業体験**がスタート。
- 2018年4月 学校長に、小市聡が着任。
- 2019年6月～ JA横浜による**畑体験**がスタート。
- 2020年4月 **校内委員会**が発足、コロナ禍での運営を模索。  
「**ようこそ農園**」がスタート。
- 2020年9月 「認定NPO法人エンパワメントかながわ」が仲間入り。  
時短での運営が再開。
- 2021年8月 5周年を記念して「**横浜総合高校 校内居場所カフェ広報誌**」を作成。



# 「ようこそカフェ」ってなに？

## 「ようこそカフェ」での過ごし方



① まずは入口で受付



② カップに名前を書いてもらいます



③ 好きなように、ほっと一息



⑥ いつものスタッフさんとおしゃべり



⑤ 愛情たっぷり手作りご飯



④ お菓子と飲み物は無料♪

カフェには誰にも言えない相談を聴いてくれる人たちがいます。

毎週水曜日 オープン

「ようこそカフェ」で心を満たす！

カフェではお菓子や飲み物が無料で提供されます。それらを食べながらカフェの人たちと気軽に話をしましょう。恋愛の話、友人の話、家族の話、将来の話、最近の話題…

なんでもお話ししてください。軽い話から重たい相談までなんでも歓迎します。



### 【ようこそカフェ参加団体】

- ① 相談全般、就業支援： 公益財団法人よこはまユース
- ② 外国につながる生徒の相談： 認定NPO法人多文化共生教育ネットワーク
- ③ 人間関係づくり： 認定NPO法人横浜メンタルサービスネットワーク
- ④ デートDV相談： 認定NPO法人エンパワメントかながわ

### 「ようこそカフェ」でおなかも満たす！

元教育委員で料理研究家でもある長島由佳氏による軽食が無料で配布されます。長島氏が自ら食材を調達、栄養価を計算して調理していただきます。食生活が乱れている生徒には貴重な食育の時間です。



### 職業に関する講座も実施！

不定期で就業に関する紹介講座が開催されます。企業、公務員、各種団体の方々から直接生徒に職業についてのお話や体験の紹介などをします。

# 「ようこそカフェ」の特色

## 1 人材の豊富さ

- + 大学生からシニアまで、幅広い年代のカフェスタッフがいます
- + 相談支援のスペシャリスト・スクールソーシャルワーカーが常駐しています

## 2 環境の良さ

- + 大きな吹き抜けが心地よい、中庭に面したフリースペースで開催しています
- + 広々とした空間で、カフェスペースを利用してさまざまな活動を展開できます

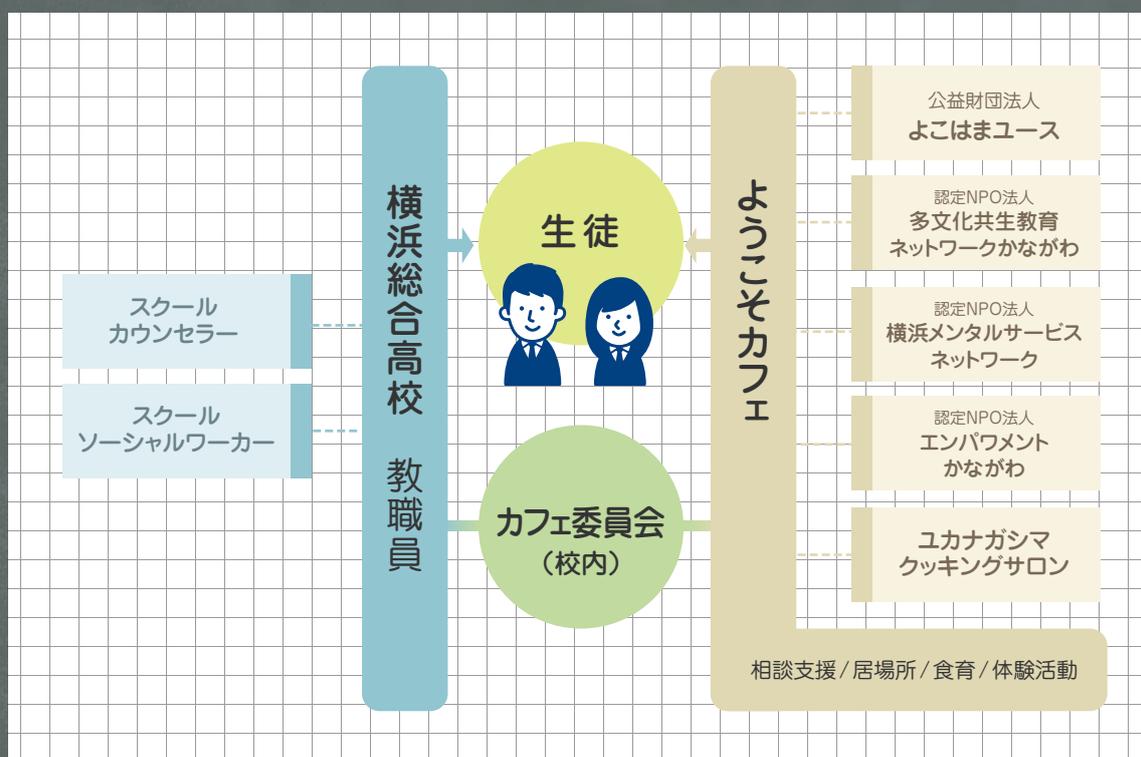
## 3 内容が充実

- + お菓子・飲み物だけじゃない栄養たっぷりの軽食を提供しています
- + 校内で食農体験ができる専用の畑があります
- + ボランティア活動や就業体験などさまざまな体験活動があります
- + 運営団体と連携し、就業支援や卒業後のフォローも行っています

## 4 運営の安定性

- + 横浜市教育委員会からの補助金で安定的に運営できています
- + 専門分野の異なる複数団体の運営で多様なニーズに対応しています

# 「ようこそカフェ」運営体制



## 公益財団法人 よこはまユース



公益財団法人よこはまユースは、横浜市の青少年育成・支援活動を推進しています。「ようこそカフェ」の運営団体として、高校生の居場所づくり、交流・相談の場づくりに取り組んでいます。

- 所在地 横浜市中区太田町2-23 横浜メディア・ビジネスセンター5階
- ホームページ <https://yokohama-youth.jp/>

わたしたちは、すべての青少年が人とのつながりの中で学び、育つことができる社会を目指して、青少年の体験活動の推進、青少年に関わる人材の育成、地域の青少年育成活動の支援、青少年に関する調査研究・ネットワーク推進など、さまざまな人・団体と協働して、ヨコハマの未来を担う青少年の育成・支援に取り組んでいます。



写真©豊島正直



### Staff message

2016年に「ようこそカフェ」がはじまってから、ほとんど毎週のように横総にお邪魔しています。毎日でも月1回でもなく、週1回というほどよい距離感で、毎回、だれとどんな話ができるのか、どんな時間を過ごせるのか、楽しみにしています。身近な人には言いづらい悩みや困ったことの相談も大歓迎です。カフェでお会いできるのを楽しみにしています。

## 認定NPO法人 多文化共生教育ネットワークかながわ



外国につながる子どもや若者への教育等の支援を行う団体です。ME-net(ミーネット)の愛称で呼ばれています。神奈川県内や全国の支援団体とネットワークを作り、連携して活動しています。

- 所在地 横浜市栄区小菅ヶ谷1-2-1 地球市民かながわプラザ NPOなどのための事務室内
- ホームページ <https://me-net.or.jp/>

外国につながる子どもたちの教育支援として、日本語や教科の学習のサポート教室や居場所・相談などを県内5カ所で行っています。また、高校世代の若者の支援として教育委員会との連携を基に、24校の高校にコーディネーターやサポーターを派遣して学習支援・キャリア支援なども実施しています。



### Staff message

ようこそカフェにはスタート当初から関わらせていただきました。高校の理解と協力の基、多くの大学生や地域の人たちが参加してくれたことで、高校生にとって話しやすい、自分を受け入れてくれる、居心地のいい場となったのではと思います。今後も、外国につながる高校生の専門相談機関として関わらせていただきたいと思います。

## 認定NPO法人 横浜メンタルサービスネットワーク



保健・医療・福祉・教育等の総合的なサービスを展開したいと、2001年設立しました。公認心理師、作業療法士、精神保健福祉士、キャリアコンサルタント等の専門職スタッフを配置し、様々なネットワークを生かしながら活動しています。

- 所在地 横浜市港南区笹下1-7-6
- ホームページ <https://forest-1.com/ymsn/>

主な活動としては、設立当初より「生きづらさを抱えた人たち」のキャリア支援プログラムに取り組んでいます。

高校生の春休み・夏休みのキャリア支援プログラム「グロウ」、高校卒業後の若者を対象にした「プレジヨブスクール」を実施し、社会参加に不安を抱えている若者の育成に力を入れています。また、駄菓子屋カフェをオープンし、職場体験の場に活用しています。



### Staff message

カフェで出会った高校生が卒業して、カフェに顔を出してくれるのがとてもうれしいです。元気な時も気持ちが沈んでいるときもその思いを誰かに伝えることが人の成長になります。これからもそんなつながりができたらいいなあ…

## 認定NPO法人 エンパワメントかながわ



暴力を受けていい人はひとりもない… 暴力のない社会をめざして2004年設立以来、神奈川県内を中心に、8000回の暴力防止のためのワークショップを約30万人の子どもとおとなに提供しています。

- 所在地 横浜市神奈川区台町11-26-103
- ホームページ <https://npo-ek.org/>

学校のクラス単位で、参加型ワークショップ形式によって、「ひとり一人がとっても大切な人」という人権、そして、暴力が向かってきたときにできること、「NO(いやだと言っている)」「GO(逃げてもいい)」「TELL(誰かに話して助けてもらっている)」を伝えていきます。これまで、CAP(子どもへの暴力防止)プログラムを柱とし、それぞれの対象にあった独自のプログラムを開発してきました。中高大学ではデートDV予防プログラムを子どもたち、教職員に実施しています。



### Staff message

カフェを担当しています浜谷です。実は2年前、「デートDV予防ワークショップ」実施の時も担当していました。体育館で実施してたことを覚えていた生徒から「見たことあるよ」と言われたときは嬉しかったです。実は、まだカフェに来ると緊張します。みなさんの表情がマスク着用でつかみ切れていない理由もあるのですが、それは逆にみなさんも私の事が分からないですよ。質問、相談、雑談etc.気軽に声をかけてください。よろしくお願いいたします。

# ユカナガシマ クッキングサロン

「ココロとカラダにしみる美味しいCOOKING!!」



「ようこそカフェ」の開催にあわせて、生徒の心とからだの健康づくりを目的に、栄養バランスがとれた手づくりの軽食を調理・提供する食育プログラム「カラダとココロにしみる美味しいCOOKING!!」を開催しています。講師の長島由佳さん(料理研究家、ユカナガシマクッキングサロン主宰)が毎回生徒のために考えてくれるメニューは、旬の食材がたっぷり!生徒の心とお腹を満たしてくれています。

## Message



2016年度末「ようこそカフェ」の存在を知った瞬間に「私にできることがここにある」と感じた私は、思いを行動にうつします。その3ヶ月後の2017年5月30日「食」で生徒と繋がれる「ココロとカラダにしみる美味しいCOOKING!!」をスタートしました。第1回は「3色わらび餅」の提供です。思いを同じくする友人が手伝い、目の前にいた生徒に声をかけての共同作業でした。私の思い・願いは、子ども達が誰でも平等に「食」で笑顔になれること=ココロとカラダが満たされること。そして徐々にその願いは「私たちの願い」へと変わっていきました。

野菜をもっと食べて欲しいとの思いから、JA横浜青壮年部の農家さんにご協力いただき2018年に校内ファーム「ようこそガーデン」が始まります。カフェに集う生徒にも、畑作りや収穫に関わってもらうことで、横総版地産地消の願いも叶い、さらに2020年度には造園業者のご協力により、本格的な農園も作られました。

キッチンに集う大人・食材などを提供する企業・団体の思いは同じです。様々な経験と生きるための豊かな力を伝えるために、カップ1杯・おにぎり1個・フルーツひとつ一つをツールに、ナチュラルで季節の恵みを感じられる『食』を届けています。人気メニューは麻婆豆腐丼、チキンボールのクリーム丼、ちらし寿司、夏野菜の Pasta、焼き鳥丼、ふかし芋などなど...知恵と腕を駆使して、集う生徒の笑顔エネルギーに「私たちキッチンチーム」は笑顔で「思い」を届け続けます。

美味しそ〜うなメニュー例!

**ミートボールのクリームラチュー Pasta添え**

※ 肉を炒めたらお肉の油を捨ててから、お肉を炒めたらお肉の油を捨ててから、お肉を炒めたらお肉の油を捨ててから...

11/4(水)

**ちらし寿司**

フルーツ添え! 煮いもも! あります!

※ 肉を炒めたらお肉の油を捨ててから、お肉を炒めたらお肉の油を捨ててから...

10/14(水)

**あんかけ焼きそば**

※ 肉を炒めたらお肉の油を捨ててから、お肉を炒めたらお肉の油を捨ててから...

12/2(水)

**麻婆豆腐丼**

※ 肉を炒めたらお肉の油を捨ててから、お肉を炒めたらお肉の油を捨ててから...

11/11(水)

**さつまい**

※ 肉を炒めたらお肉の油を捨ててから、お肉を炒めたらお肉の油を捨ててから...

12/16(水)

**ハンバーグDON**

※ 肉を炒めたらお肉の油を捨ててから、お肉を炒めたらお肉の油を捨ててから...

# ご支援・ご協力いただいた皆さま

これまでに「ようこそカフェ」にご支援・ご協力いただいた皆さまをご紹介します。(2021年8月17日現在、順不同・敬称略)

アクセンチュア株式会社  
認定NPO法人おてらおやつクラブ  
一般財団法人神奈川ゆめ社会福祉財団  
釜石市産業振興部水産課  
釜石湾漁業協同組合  
KEYCOFFEE株式会社  
共生食品株式会社  
弘明寺キッズICTクラブ  
Golden Opportunity株式会社  
JA横浜青壮年部  
認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本・神奈川  
一般社団法人生命保険協会神奈川県協会  
株式会社セブン・イレブン・ジャパン

手づくりおやつ工房とさか  
農業法人でんぱた  
トレッサ横浜  
一般社団法人日本産業カウンセラー協会神奈川支部  
生活協同組合パルシステム神奈川  
公益社団法人フードバンクかながわ  
南区社会福祉協議会  
妙法寺  
横浜市消費生活総合センター  
株式会社ユニオン・株式会社サクラメント  
NPO法人横浜コミュニティデザインラボ  
株式会社横浜ビー・コルセアーズ  
横浜南央ロータリークラブ

## ご支援・ご協力いただいた方からのメッセージ

### ■ 子どもたちの食糧基地・佐藤謙一郎さん

「目撃者責任」私の一生を貫く言葉ですが、初めて横浜総合高校のカフェに一步足を入れたときに思い出した言葉でもありました。

「見てしまった、知ってしまったことに責任を持つ」。今まで何度となく善意の現場を、あたかも絵画展を巡るように通り過ぎてきた自分。私を立ち止まらせたのは温かい食事を手渡す長島由佳さんの、まわりに出来た穏やかな生徒たちの笑顔でした。私にやれることは長島さんに食材を届けること。早速、友人の企業から毎回果物を提供していただくことに成功しました。小市校長先生にはご無理を聞いていただき、キャンパスの裏側に小さな畑を作ることも出来ました。友人の造園会社が新入社員の研修名目で耕してくれたのです。この畑の野菜がメニューに載った時に、私は心の中で「やった！」と叫びます。

生徒たちが乏しい人生の景色を脱して、多様な世界をのぞき見る機会をこのカフェで提供することが出来れば、きっと「目撃者責任」の良き継承者になってくれるのです。

### ■ 企画部外部指導員・長島好和さん

企画部(部活動)の生徒を中心に、「ようこそカフェ」に提供する野菜の栽培をしています。

ようこそ農園では安心して旬の美味しい野菜を提供したいと考えて活動をしています。そのために無農薬・低農薬の野菜作りや、横浜市資源循環局からお借りしたコンポストで、野菜くずなどを使用して肥料(堆肥)を作り始めました。安全で美味しい野菜を「ようこそカフェ」に提供してみんなに喜んで食べてもらえるように頑張っています。ぜひ、「ようこそカフェ」の料理を味わってください。

ほとんどの生徒が野菜作りは初めてですが、わからないことは先生たちに教えてもらっています。虫が苦手な人や力仕事が苦手な人もいますが、自分の苦手なこと・得意なことをお互い理解して、助け合って協力して楽しく活動しています。

今年度の栽培は、さつまいも・とうもろこし・里イモ・キャベツ・白菜・ブロッコリーの予定です。また今年は苗作りからの栽培にも挑戦する予定です。入学しましたら一緒に収穫の喜びを体験しましょう。



## メディア掲載実績(2017~2021)

2017/1/9	読売新聞	生徒の悩み相談カフェ
2017/7/13	学事出版 月刊『高校教育』	2017年8月号・高橋寛人・交流相談カフェの意義と効果—困難を抱える高校生に「居場所カフェ」を—
2017/10/10	FMヨコハマ	『ちょうどいいラジオ』
2017/10/12	タウンニュース	カフェが生徒の「居場所」に
2017/10/24	FMヨコハマ	『ちょうどいいラジオ』
2018/1/29	神奈川新聞	ずっと…、寄り添って。「神奈川ゆめ奨学金」高校生の「一生懸命」を応援。新しい奨学金制度がスタート
2018/3/—	公益財団法人横浜市教育文化研究所『JAn』Vol.54	思いを語り合う場を 学校の中に「ようこそカフェ」
2018/3/—	公益財団法人よこはまユース『YOKOHAMA EYE'S』2017	富岡克之・社会とつなぐ・社会とつながる「体験」 体験から考える「はたらく」をまなぶ
2018/11/26	朝日新聞	高校内お悩み相談「居場所カフェ」
2018/10/27~12/24	LOCAL GOOD YOKOHAMA『校内居場所カフェ【ようこそカフェ】プロジェクト』	高校生の社会的自立を支える校内居場所カフェ「ようこそカフェ」で「つながり」と「体験」を届けたい! (クラウドファンディング)
2019/10/5	神奈川新聞社 季刊誌『横濱』2019年秋号Vol.66	山崎洋子・横浜の底力58「ようこそカフェ」へようこそ
2020/2/21	生協パルシステム情報メディアKOKOCARA (Web版)	生きづらさを抱える高校生に、ホッとできる場とあったかいごはんを。 「校内居場所カフェ」という寄り添い型支援のかたち
2021/5/13	読売新聞 (Web版2021/7/10)	取材帖・古沢由紀子・中高生の居場所①
2021/5/17	産経新聞Web版	ほっとできる生徒の居場所 高校居場所カフェ続々誕生
2021/5/27	読売新聞 (Web版2021/7/10)	取材帖・古沢由紀子・中高生の居場所②
2021/6/8	読売新聞 (Web版2021/7/10)	取材帖・古沢由紀子・中高生の居場所③

## 書籍・報告書(2017~2021)

2017/3/31	横浜市立横浜総合高校におけるカフェ相談活動の取り組みと意義(平成28年度教員地域貢献活動支援事業報告書) 高橋寛人 編著／横浜市立大学
2019/8/1	"学校に居場所カフェをつくらう! 生きづらさを抱える高校生への寄り添い型支援" 居場所カフェ立ち上げプロジェクト 編著／明石書店
2019/9/20	居場所づくりに必要なこと——子ども・若者の生きづらさに寄りそう 柳下 換・高橋 寛人 編著／明石書店



## 生徒の声

- ・毎週カフェを楽しみにしながら学校に行っていました。そのおかげで充実した三年間を過ごすことができました。ありがとうございました。
- ・いつも家に帰ってもインスタントしかないので、あたたかい手料理がとてもおいしくて楽しみでした。いつもありがとうございました。
- ・友達が増えてうれしかった！
- ・カフェのみなさま一年生の時からずっと私たちが優しく見守って下さりありがとうございました。
- ・好きやで！
- ・いつもよろこぶカフェの人に会うと安心する～ありがとう。
- ・一年間コロナの中、僕たちのために精一杯をありがとうございました。
- ・よろこぶカフェは週に一度わきあがる横総のオアシスです！
- ・いつもたくさんのお愛をありがとう。いままでthank you いつもありがとう あいしてる LOVE I love you



## 職員の声



- ・自分をありのまま受け入れてくれるカフェは、生徒の大切な居場所です。多くの人に支えられ、大事にされる経験は、卒業後も自身を肯定する経験として残っていくと思います。皆様も、ほっと一息つきに来てください。 堀谷沙貴(よろこぶカフェ委員会委員長)
- ・「居場所」という言葉の意味を学びました。当たり前にあるもの過ぎて、見えていなかったこと。そこに誰かがいること。笑顔で迎えてくれること。ただ居てよいと思えること。それを生み出すカフェのチカラ。絶大です。 近藤哲史(キャリアガイダンス部部长)
- ・学校環境の整備を行う中で、「よろこぶカフェ」にて長島由佳さんの食育をお手伝いしています。様々な事情を抱える生徒たちが、学校に来るきっかけや悩みを相談できる空間にしていきたいと思っています。 山田耕次(用務員)

## スタッフの声

- ・小さなかわりの積み重ねから、気軽に相談できるような大人として参加しています。その中で、生徒はスタッフと話し、言語化することで悩んでいる現状を理解したり、自分の気持ちを見つけて整理したりしていくな、と感じています。それが新たな一歩になると信じて、今後もそのお手伝いを続けていきたいです。(安富祖樹里/運営コーディネーター)
- ・「おっ、今週はカフェやってんじゃん、行く行く」と気軽に言われて、開いていけばいつの間にか足が向いて、久しぶりでも普通に迎えられる。「よろこぶカフェ」は、横総生のそんな「居場所」でありたいと願っています。 千兵衛(岩倉智久/運営コーディネーター)
- ・カフェへよろこぶ！ 授業のあとでちょっと一息、おにぎりや軽食でお腹とこころを満たしてください。美味しかったとか、作り方を教えてなんて言われるととても嬉しいです。みなさんの食生活を応援します。また来てね。(金子佳代子/キッチンボランティア)
- ・よろこぶカフェの雰囲気が好きです。元気に挨拶する人、果物をどれにするか迷う人、遠慮がちにおにぎりを受けとる人...一人一人と関わる時間はほんの数秒のときもあるけれど、そんな関わりから元気をもらっています。中には「授業なので」後で済ませると足早に通りすぎる人も...でも、そんなやり取りも繋がりを感じて嬉しいです。(永田恵/キッチンボランティア)

## むすびにかえて

### 「ようこそカフェはすべての関係者のwinの結晶です」

ようこそカフェはもちろん生徒が中心です。しかし主役は生徒も含めたすべての関係者です。参加団体の皆様はそれぞれの主旨を大いに披露していただける場となります。教職員やSSWはカフェとの連携により、より良い方法で生徒を助けることができます。さらにカフェに直接関わる教職員には外部との様々な世界と触れ合うチャンスが訪れます。保護者も子供の外での様子を多面的に見てもらえることや食事が提供されることで安心感を持てます。随所で応援してくださっている方々にも生徒の笑顔とやりがいを感じていただけます。

このすべての関係者のwinがこれからも続くことにより、中心である生徒に心のこもった温かい手が差し伸べられることとなります。これからも関係する全ての皆様にとってwinがもたらされる場であるように尽力していく所存です。関係するすべての皆様に感謝いたします。

横浜市立横浜総合高等学校

校長 小市 聡

ようこそカフェ

—横浜総合高校 校内居場所カフェ広報誌—

2021年9月発行

【編集・発行】

公益財団法人よこはまユース

〒231-0011 横浜市中区太田町2-23 横浜メディア・ビジネスセンター 5階

Tel 045-662-4170 Fax 045-662-7645

Mail kikaku@yokohama-youth.jp

URL <https://yokohama-youth.jp/>

デザイン T\_web design 川本智子

ようこそ  
カフェ